



▲メキシコ代表選手の合宿会場となる中央森林公園自転車コース

東京五輪・パラリンピック事前合宿に向け 実行委員会を設立

市や商工会議所、県自転車競技連盟などは1月25日、2020年東京五輪・パラリンピックの事前合宿の受け入れや誘致に協力して取り組むため、実行委員会を設立し、初会合を開きました。会合では、メキシコの自転車競技の代表選手が5月20日から6月4日まで、中央森林公園などで行う強化合宿について、受け入れ体制を確認。合宿に向けて市民の機運を高めるため、広報活動に取り組むことやスペイン語講座を開催することなどを決めました。また、今後、自転車以外の競技につ

いても、各国代表チームの事前合宿の誘致に向けて取り組むことで合意しました。実行委員会は今月下旬に2回目の会合を開く予定です。

☎スポーツ振興課

☎0848・647219

久井地域で活動開始 地域おこし協力隊員



▲天満市長と握手を交わす高橋さん

市は先月1日、山形県山辺町出身の高橋和也さんに、地域おこし協力隊員として久井地域で活動することを依頼し、隊員となった高橋さんは同日から活動を開始しました。

依頼状の交付式で天満市長から「若い力で久井地域を元気にしてほしい」と激励を受けた高橋さんは、「まずは地域のことを知り、全国に三原の良さを発信していきたい」と意気込みを語りました。

高橋さんの任期は最長3年。当面は、久井地域の農業法人やNPO法人で活動する予定です。

市の地域おこし協力隊員は高橋さんを含めて3人。他の2人は大和地域と鷺浦町で地域行事に協力したり、地域の魅力を発信したりしています。

市は今後、本郷地域にも隊員を配置する予定です。各地域の隊員が連携して活動できるよう支援していきます。

☎地域調整課

☎0848・676184

三原城築城500年に向けてメッセージジカプセルを設置

市や商工会議所、観光協会などをつくる瀬戸内三原築城450年事業推進協議会は先月10日、市内の小中学生の寄せ書きや市民から集めたメッセージカードなどを50年後に引き継ぐため、みはら歴史館にメッセージジカプセルを設置し、除幕式を行いました。ジカプセルは市内の障害福祉サービス



▲メッセージジカプセルに築城450年事業の法被を納める児童

事業所「もりの輝舎」が製作。三原城の天主台をモチーフにした外観で、三原産のヒノキを使用しています。式では三原小学校の児童3人がジカプセルの中に、寄せ書きやメッセージカード、築城450年事業の資料やグッズなどを納めました。式を終えて同校5年生の夜船優斗君は「50年後も自然豊かな三原であってほしい。三原が好きなので三原ですつと暮らしたい」と笑顔で話しました。ジカプセルは当面、みはら歴史館に展示します。

☎築城450年事業推進担当室

☎0848・610450